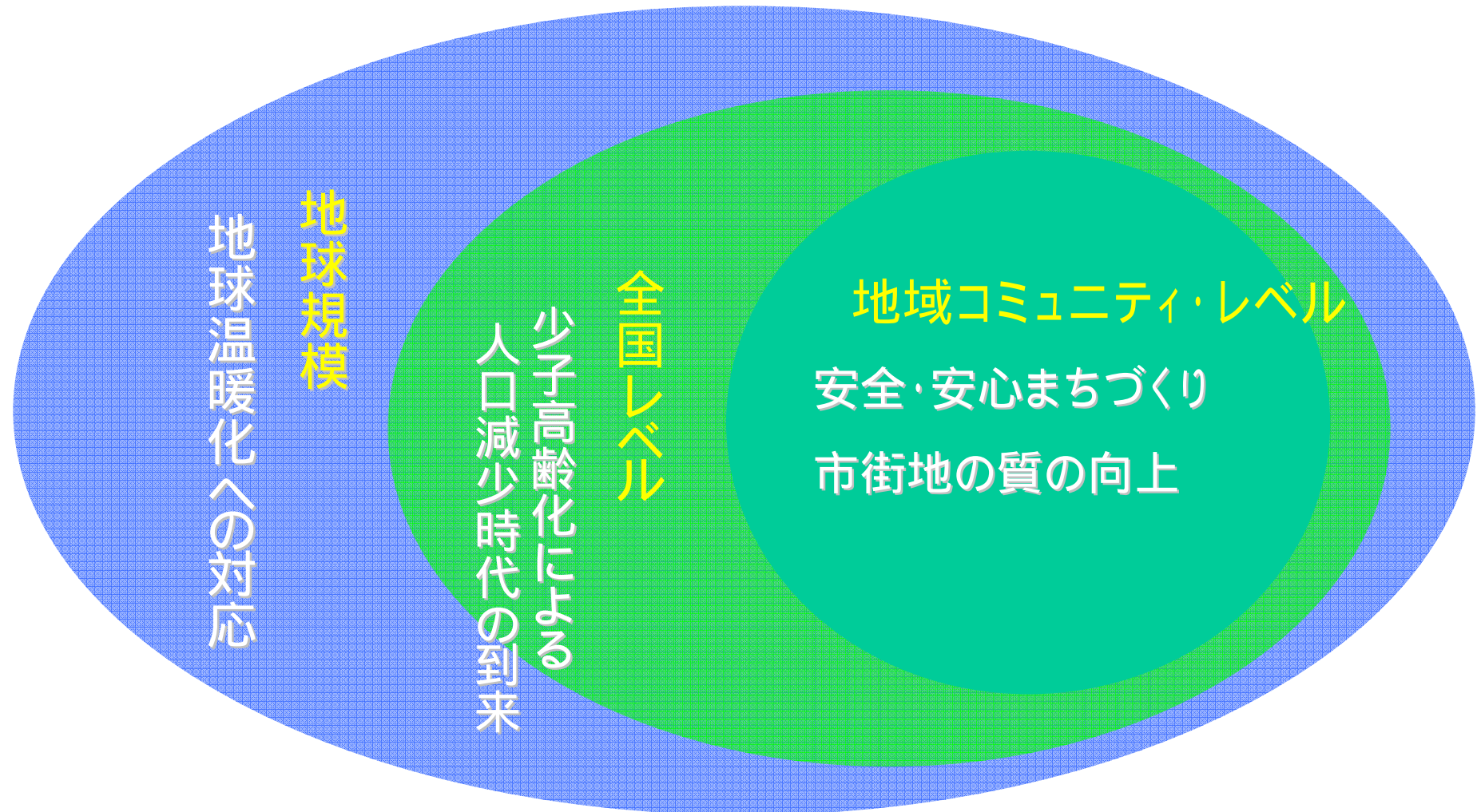


まちづくりに関わる潮流について

社会の広がりに応じた、これからのまちづくりに関わる 4つの重要テーマ



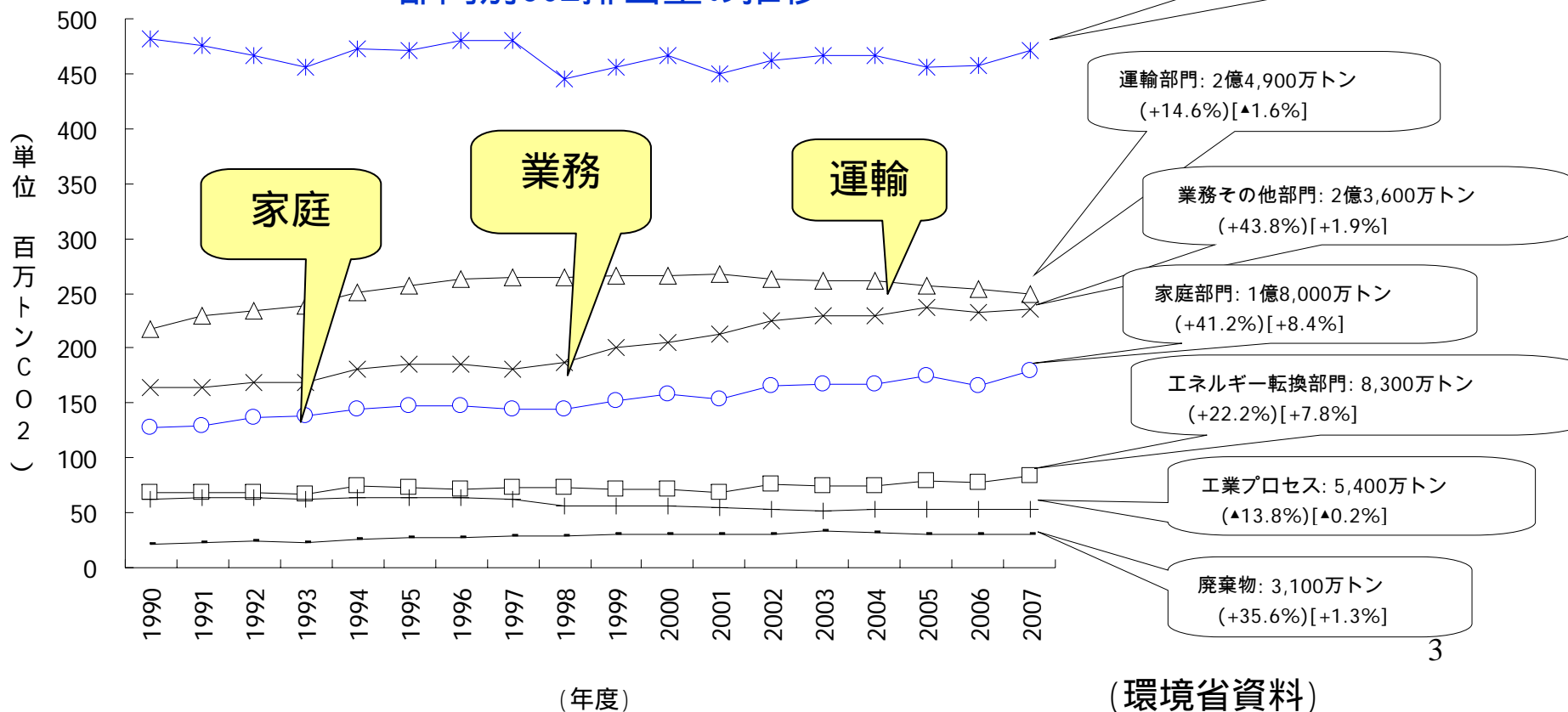
地球温暖化への対応

都市に関連する部門でのCO2排出量の削減が重要課題

家庭・業務・運輸という都市に係る部門でCO2排出量の半分を占めています。

また、家庭・業務・運輸部門は京都議定書の基準年である1990年と比較して大きく増加しており、これらへの対策が急務です。

部門別CO2排出量の推移

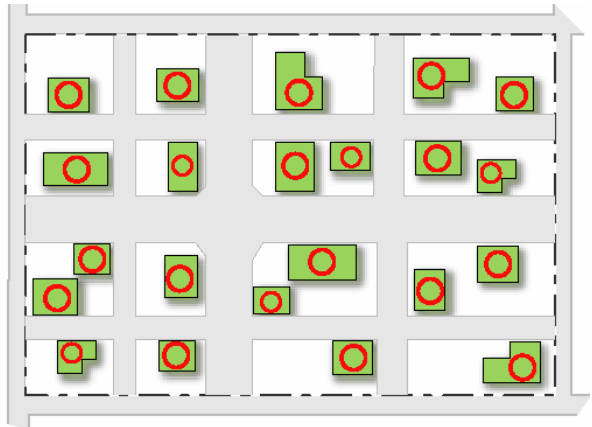


都市づくりの中で温暖化対策を行う意義

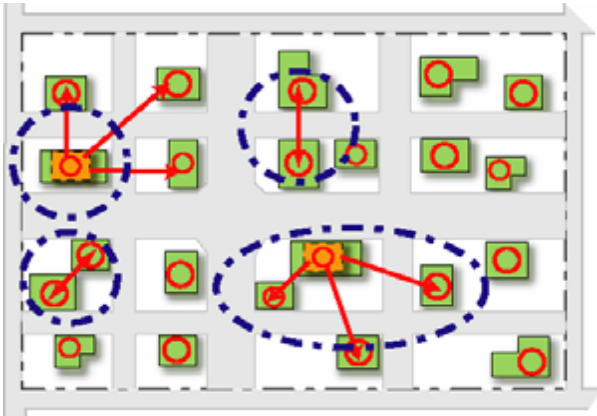
個々の対策ばかりでなく、まちや都市の広がりの中で温暖化対策を講じることにより、確実に効果的な対策につながる



低炭素型まちづくりの推進



省エネルギー対策を集団的に導入することで、街区・地区レベルでの面的な低炭素化が図られる



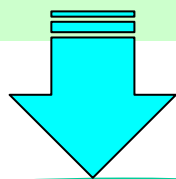
異なる建築用途の組合せや、近隣建物へのエネルギー融通により、エネルギーの面的利用が可能となり、利用負荷の平準化が図られる

低炭素型まちづくりのイメージ例

地区・街区レベルでのエネルギーの融通や水の効率的利用
自然エネルギー、未利用エネルギーの街ぐるみでの有効活用
都市内みどりや水環境の再生・創出 ヒートアイランドへの緩和にも役立つ

クルマ社会から、歩行、自転車、公共交通機関優先の社会への転換

公共交通機関の便利なところに集まって住む



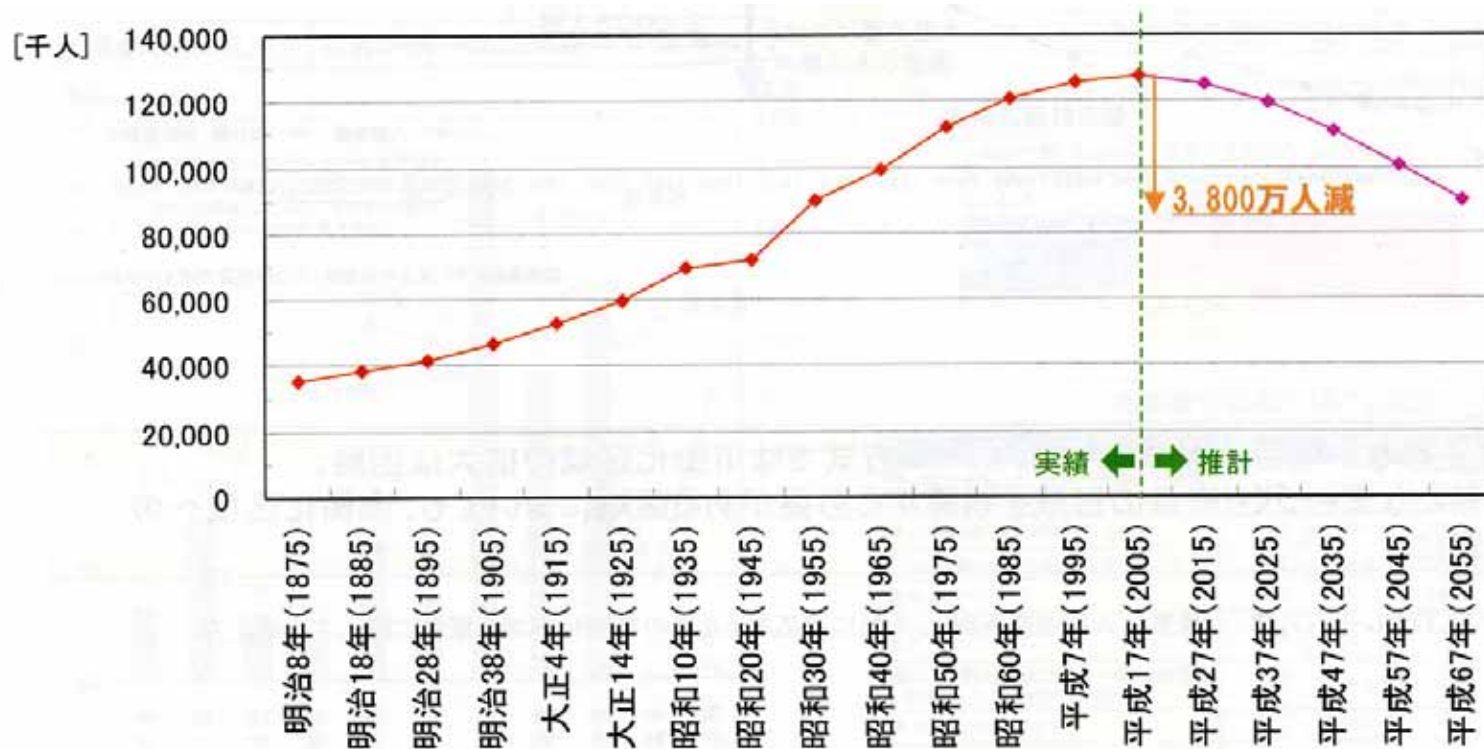
エコ・コンパクトシティの実現

少子高齢化と人口減少時代の到来

人口の将来推計

我が国の人口は、既に平成17年(2005年)をピークに減少を始めています。
一方、葛飾区の人口は平成34年(2022年)をピークに、人口減少に転じます。

全国人口の推移と将来予測



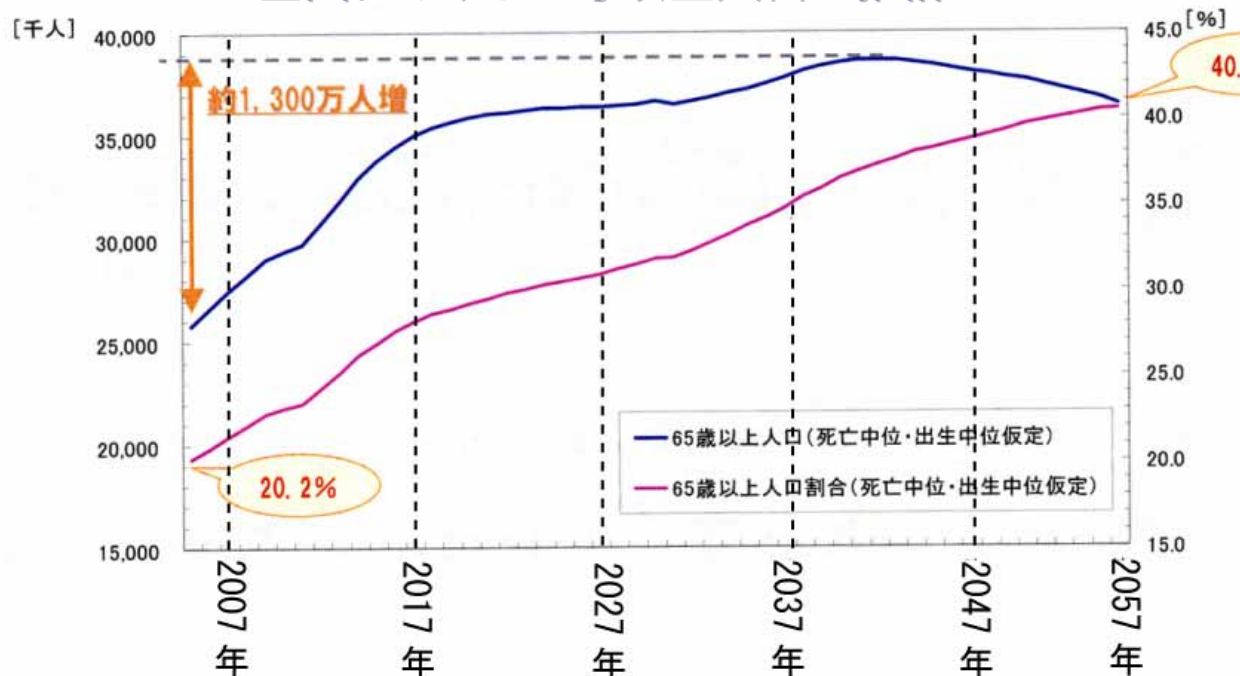
2005年までは、日本の長期統計系列(総務省統計局)(昭和20~46年の数値は沖縄県が含まれていない。)、
2015年以降は、国立社会保障・人口問題研究所データ(死亡人口中位・出生中位仮定)より作成

高齢化の進展

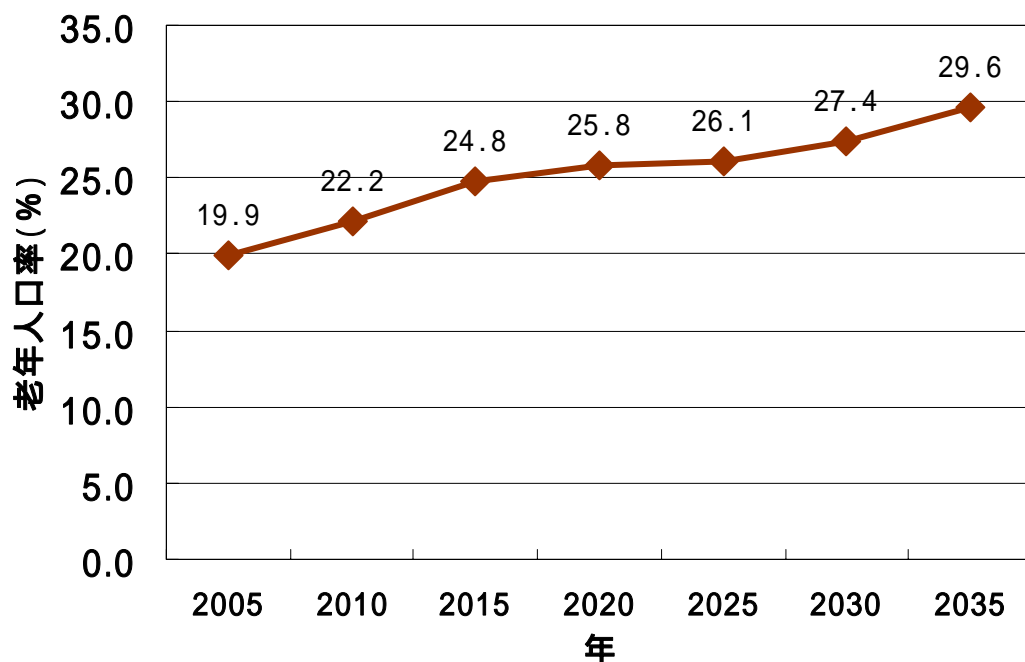
我が国は、2025年に65才以上の人口が3人に一人になり、2057年には2.5人に一人となる超高齢社会になります。

一方、葛飾区は、2035年には3人に一人が65才以上になります。

全国における65才以上人口の推計



(国立社会保障・人口問題研究所データより作成)



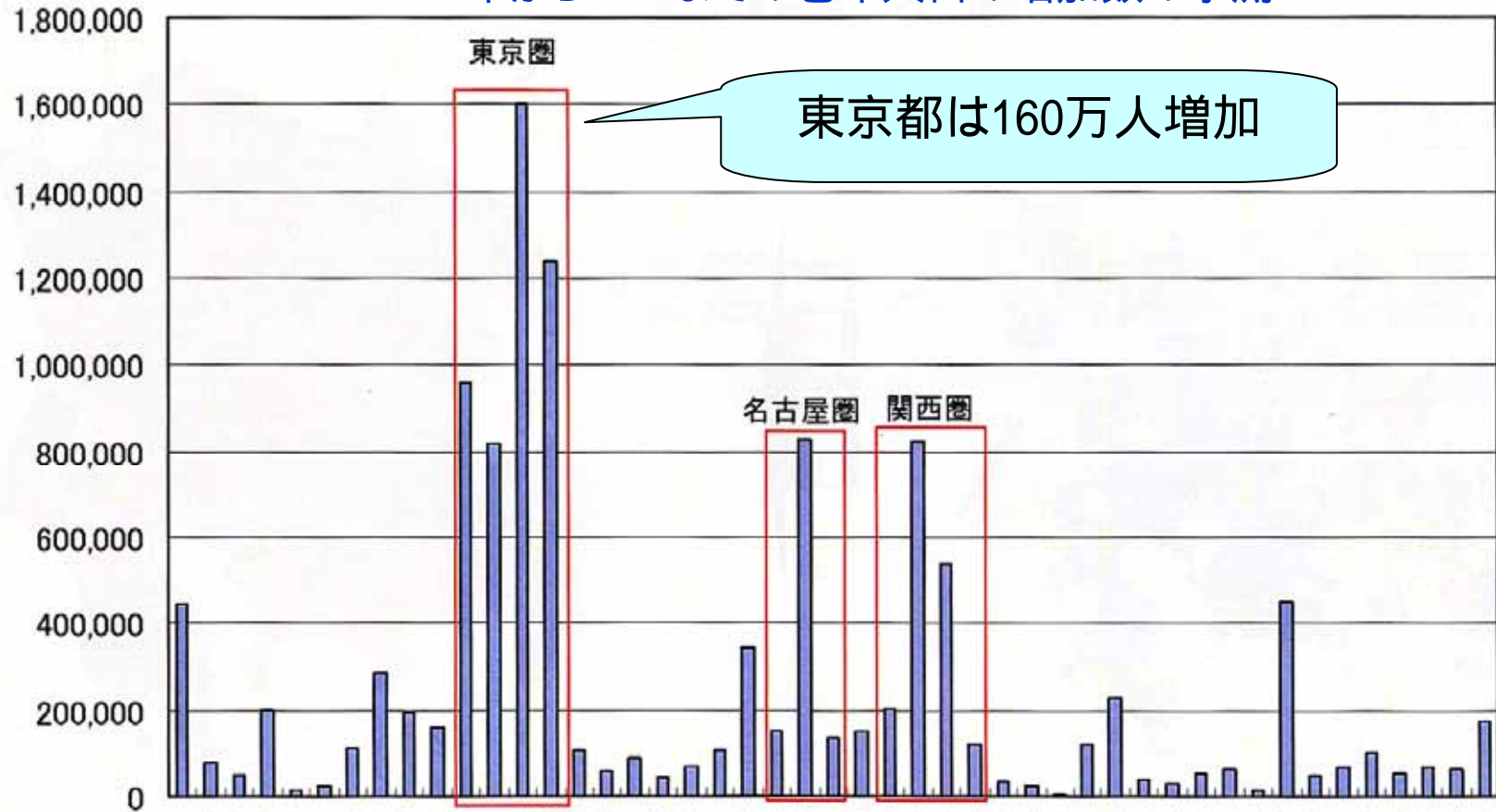
葛飾区の老年人口率の将来推計

(国立社会保障・人口問題研究所データより作成)

一方、大都市圏では老年人口比率の増加は遅れるものの、高齢者の数そのものは大きく増加します。 大都市圏で深刻化する高齢者問題

増加数(2005年→2035年)

2005年から2035までの老年人口の増加数の予測



東京都は160万人増加

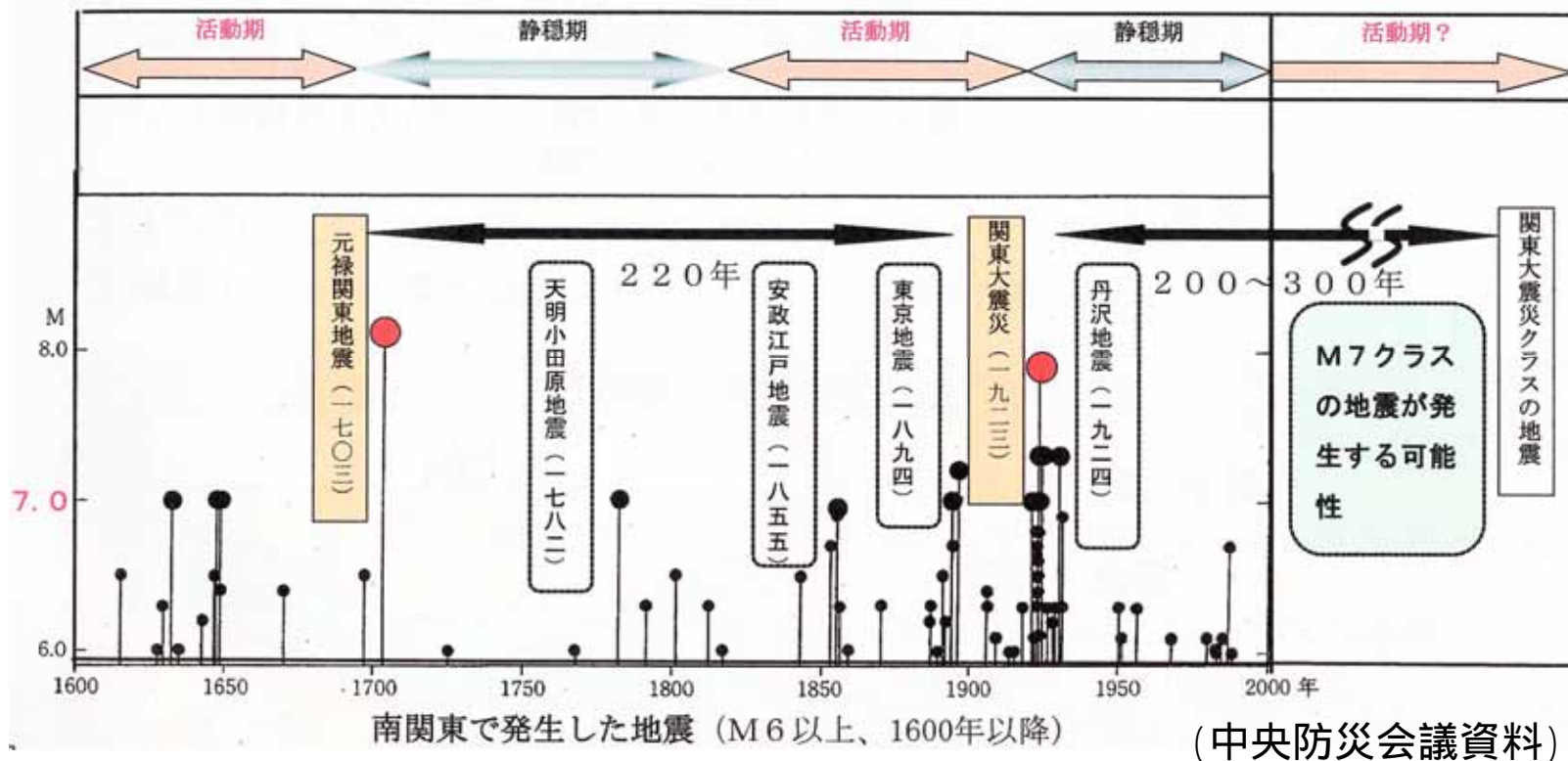
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長静岐愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野岡阜知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄
道県県県県県県県県県都川県県県県県県県県県府府県県山県県県県県県県県県県県県県県県

出典) 2005年の実績値:総務省「国勢調査」
2035年の推計値:国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(平成19年5月推計)

安心・安全まちづくり

首都直下地震に対する備え

首都地域では、2～3百年間隔で関東大震災クラス(M8)の地震が発生。その間にM7クラスの直下地震が数回発生する可能性が大きいとされています。ここ30年の間に、M7クラスの直下地震が、70%の確率で発生すると言われてています。



水害対策

首都地域は、大河川の洪水等が発生した場合に、甚大かつ広域的な被害の発生が想定されています(国では大規模水害発生時の被害想定や、被害等を最小限に食い止めるための対策等を検討)。

また、最近増加している都市型水害(ゲリラ豪雨)についても注意が必要です。

河川や下水道の整備はもとより、洪水ハザードマップの作成、貯留・浸透機能の確保、リアルタイムの洪水情報の提供などのソフト面の対策も必要です。

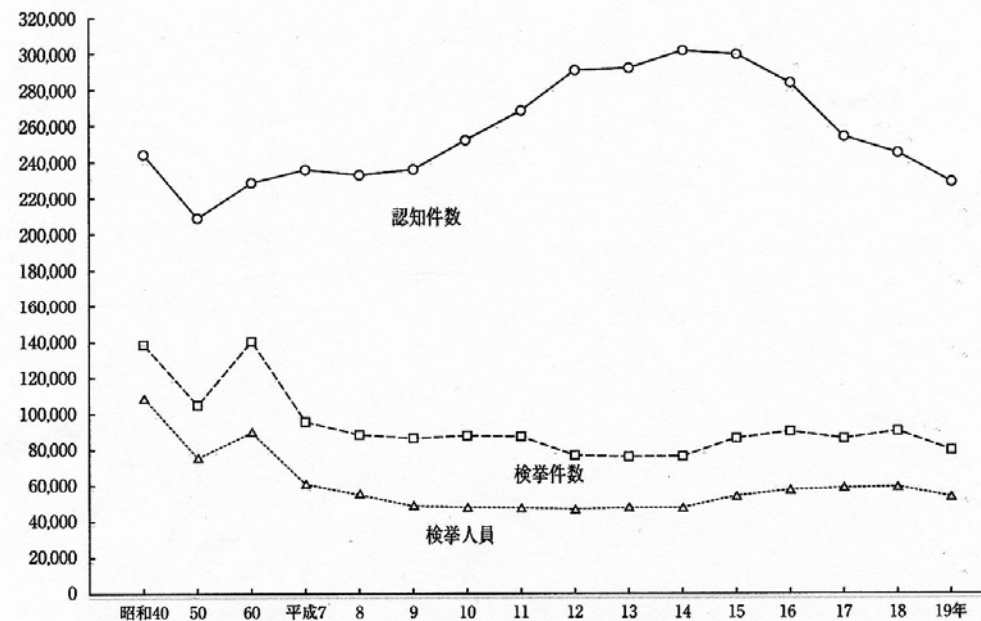
防犯まちづくり

犯罪認知件数は、近年減少しているが、未だ昭和40年代の1.5倍を超える高い水準にあります。

ただし、単純な窃盗犯は減少しているが、粗暴犯などが増えています。

検挙率が低い(30%)ことが問題です

東京都における犯罪認知件数の推移



(警視庁資料)

市街地の質の向上

市街地の質の向上のためのキーワード

みどり、水の保全・創造

歴史的・文化的資源の保全・活用

まちの景観の保全・改善

ゆとりのある市街地の形成

